

令和6年度農作物の鳥獣被害対策及び被害にかかる集落実態調査
入力・分析業務公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

項 目	内 容
1	日 時
2	場 所
3	出席委員
4	議 題
5	担当部署
6	開催方法
7	議事内容

令和6年7月10日（水） 13時30分から15時30分まで

Zoom利用によるWeb会議形式

農林水産局農水産振興担当部長
総務局施策形成支援チーム担当課長
環境県民局自然環境課長
農林水産局農業経営発展課長
農林水産局農業技術課長

企画提案内容の審査及び最優秀提案者の決定について

農林水産局農業技術課

参集

企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者として選定した。

- 1 提案者（選定提案者：◎）
- A社：株式会社野生動物保護管理事務所
 - B社：株式会社B O - G A ◎
 - C社：株式会社野生鳥獣対策連携センター

2 委員の主な評価・選定理由

【A社】

- ・集落へのフィードバックは1枚ものパンフレットだけだったが、予算的制約もあるが、エクセル表を市町に提供し、そのデータを基に市町から各地区にフィードバックするスキームを想定している。
- ・これまでの豊富な経験とノウハウに基づき、結果を分かりやすくフィードバックする提案は評価できる。
- ・課題に対応した解決策を提案してほしかった。

【B社】

- ・セオリー・プロセス・インパクトの各フェーズに応じた、具体的かつ明確な提案となっている。
- ・自然科学調査と社会科学調査を基に、現地踏査して、出没実態調査、対策強度調査を、また住民アンケート調査を実施することを評価する。
- ・市町担当者の課題を把握しており、解決策までの提案となっている。
- ・もう少し具体的なイメージができれば、なお良いと思われた。

【C社】

- ・当該調査のアウトプットを踏まえた上で、被害対策のプロセス整理されていることは評価できる。
- ・空間補完図の作成は斬新的である。
- ・集落アンケートは広域的な範囲のものとし、集落に入り込んだ調査・ヒアリングは個別に入り込んで調査しないと対応できないことから、本調査とは別に個別調査を実施する必要性について、よく考えられている。